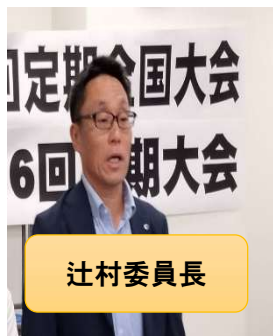


貨物鉄産労第 41 回定期大会・貨物連合第 16 回定期大会 第 12 回安全ディスカッションを同時開催する！！



辻村委員長

7 月 14 日、大阪市内において開催され、今後の運動方針が満場一致で可決されました。

吉永副委員長（貨物鉄産労）による開会挨拶後、宮本代議員（南関東ロジ）を議長に選出し、大会を代表して挨拶に立った辻村執行委員長は、「福知山線脱線事故から 20 年が経過した。昨年は、輪軸組立不正や貨物列車脱線があり、J R 産業においても重大事故が多発し、改めて安全最優先の取り組みを強くお願いしたい。2027

年のアボルール改定が迫っているが、要員不足・物価高騰等で各旅客会社も厳しい環境下であり、J R 貨物として丁寧な対応が求められ、今から準備していかなければならない。夏季手当交渉では残念な結果となった。人事制度一部修正を実施したが、賃金改善が遅れていることは明らかであり、離職防止・女性に優しい職場環境作りも含め、取り組みを強化していく。組織については、ご承知の通り厳しい状況だが、目をそらすことなく鋭意な取り組みをお願いし、最後に第 27 回参議院議員選挙においては、候補者必勝に向け、ご協力をお願いしたい」と訴えました。

来賓には、J R 連合上村会長・J R 連合宮野局長・交運共済本田専務理事にお越し頂き、上村会長からは、安全・政策・組織課題を中心に「J R 産業において、重大事故が多く発生していることを深く反省し、再発防止・安全確立に向け取り組みを強化していく。アボルール改訂については、貨物会社・各旅客会社とヒヤリングや意見交換を行いながら積極的取り組みでいき、組織課題では、現状を踏まえながら真摯な取り組みをお願いしたい」と述べられ、本田専務理事からは、日頃のからの感謝を申し上げるとともに加入促進協力要請を述べられました。

続いて、執行部より今後の運動方針案を提起後、質疑応答では 10 名より発言があり、執行部・宮野局長が答弁を行い、役員改選では、鈴木教仁執行委員を書記長に選出し、瀧本副会長（中国ロジ）が大会宣言（案）を読み上げ、山田事務局次長（南関東ロジ）による閉会挨拶後、最後に辻村執行委員長による団結ガンパローで、大会を終えました。



吉永副委員長



上村会長



本田専務理事



宮本議長



鈴木執行委員



山田事務局次長

大会後、第 12 回安全ディスカッションを開催し、現場で起きている安全問題等を吸い上げ、安全対策等を議論しました。